

第126期 中間株主通信

2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日

証券コード：4098

2024年3月期 上半期 連結財務ハイライト

売上高

3,546 百万円

前年
同期比 9.0% 減

営業利益

△277 百万円

前年
同期比 —

経常利益

△277 百万円

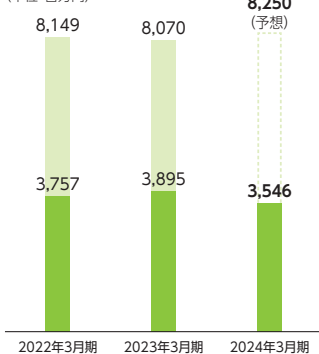
前年
同期比 —

親会社株主に帰属する
四半期純利益

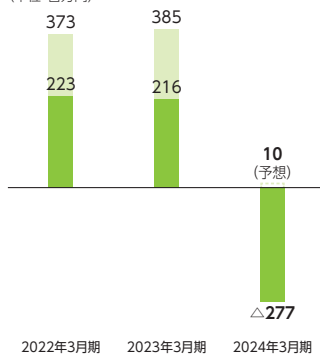
△192 百万円

前年
同期比 —

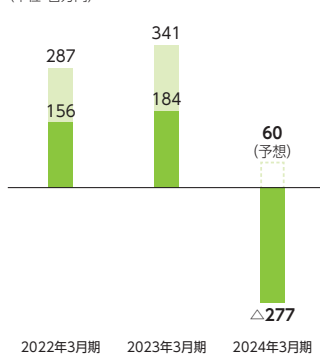
■通期 ■上半期
(単位:百万円)



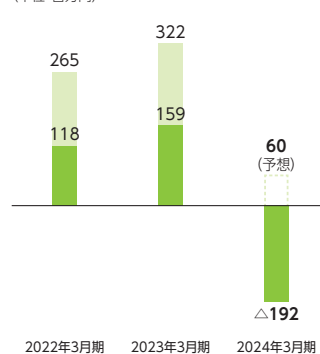
■通期 ■上半期
(単位:百万円)



■通期 ■上半期
(単位:百万円)



■通期 ■上半期
(単位:百万円)



2024年3月期 通期連結業績予想

売上高

8,250 百万円

前期比 2.2% 増

営業利益

10 百万円

前期比 97.4% 減

経常利益

60 百万円

前期比 82.4% 減

親会社株主に帰属する
当期純利益

60 百万円

前期比 81.4% 減



さらに詳しい財務情報は
当社IRサイトをご覧ください。

チタン工業 IR



<http://www.titankogyo.co.jp/irinfo/irdata/>



トップメッセージ

TOP MESSAGE

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

第126期 上半期(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の業績につきまして、ご報告申し上げます。

代表取締役社長執行役員 **井上 保雄**

第126期 上半期の業績について

当上半期におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による活動制限の解除により、経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調となりましたものの、ウクライナ情勢の長期化や円安などによる原燃料価格の高止まりにより、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のもとで、当社グループは、3カ年の第6次中期経営計画(2022年3月期~2024年3月期)に基づき、コスト削減で収益性の向上に努めるとともに成長戦略の実現と経営資源の効率化を進めるなど、企業価値の向上に取り組んでまいりました。

当上半期の売上高につきましては、一部製品の出荷が減少したことなどにより、前年同期を下回る3,546百万円(前年同期比9.0%減)となりました。

損益面につきましては、売上高の減少に加え、生産数量の減少及び主要原燃料価格の高止まりなどにより、営業損失は277百万円(前年同期は営業利益216百万円)、経常損失は277百万円(前年同期は経常利益184百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は192百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益159百万円)となりました。

当期の中間配当につきましては、今期の業績及び今後の経営環境を慎重に検討いたしました結果、誠に遺憾ながら見送ることとさせていただきますので、何卒ご了承を賜りますようお願い申し上げます。

スタンダード市場への移行について

当社は、2023年10月20日付でプライム市場からスタンダード市場へ移行いたしました。

◆スタンダード市場の選択理由

厳しい経営環境や東京証券取引所の経過措置の適用期限などを総合的に勘案した結果、スタンダード市場を選択した上で中長期的な企業価値の向上に向けた取り組みに集中することが妥当であると判断いたしました。

◆スタンダード市場の上場維持基準への適合状況

	スタンダード市場の上場維持基準	当社の適合状況(2023年3月末時点)
株主数	400人以上	3,782人
流通株式数	2,000単位	20,663単位
流通株式時価総額	10億円	30億円
流通株式比率	25%	68.2%
月平均売買高	10単位以上	2,438単位
純資産の額	正	70億円

*月平均売買高については、2022年10月から2023年3月までの6ヶ月間における東京証券取引所の売買立会での売買高を6で除して月平均として算出しております。

◆今後について

スタンダード市場へ移行しましたが、今後も、引き続きプライム市場にふさわしい企業を目指し、企業価値の向上に向けた取り組みを推進してまいります。

セグメント別の概況

酸化チタン関連事業



◆取扱製品◆

- 超微粒子酸化チタン
- 化粧品用酸化チタン
- 導電性無機酸化物
- チタン酸塩
- チタン酸リチウム

電子写真用トナー、化粧品、リチウムイオン二次電池等

売上高 **2,264** 百万円 前年同期比 **12.8%減** ▼

酸化チタン関連事業につきましては、需要の低迷により、トナー外添剤向け製品の出荷が減少いたしました。また、半導体不足などの影響により、リチウムイオン二次電池向け製品の出荷が減少いたしました。

その結果、当セグメントの売上高は2,264百万円（前年同期比12.8%減）となり、売上高の減少に加え、生産数量の減少及び主要原燃料価格の高止まりなどにより、営業損失は170百万円（前年同期は営業利益177百万円）となりました。

酸化鉄関連事業



◆取扱製品◆

- 合成酸化鉄

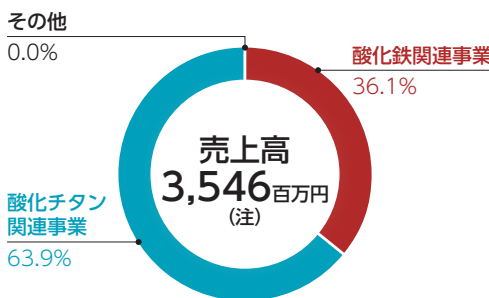
電子写真用トナー、化粧品、塗料等

売上高 **1,281** 百万円 前年同期比 **1.2%増** ▲

酸化鉄関連事業につきましては、需要の低迷により、トナー向け新製品の出荷が減少いたしましたものの、新型コロナウイルス感染症による活動制限の解除により、経済活動の正常化が進んだことで、化粧品向け製品の出荷が好調に推移いたしました。

その結果、当セグメントの売上高は1,281百万円（前年同期比1.2%増）となりましたものの、生産数量の減少及び主要原燃料価格の高止まりなどにより、営業損失は113百万円（前年同期は営業利益16百万円）となりました。

売上高構成比



(注) 1 セグメント間取引につきましては、相殺消去しております。
2 売上高のうち、輸出の金額は667百万円で、売上高に占める比率は18.8%となっております。

今後の見通しについて

今後の見通しにつきましては、政府による各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調が続くことが期待されますものの、ウクライナ情勢などの地政学リスクの長期化や円安基調の継続などによる原燃料価格の高止まりなど、先行き不透明な状況が続くものと見られます。

当社グループといたしましては、第6次中期経営計画に基づき、

コスト削減で収益性の向上に努めるとともに成長戦略の実現と経営資源の効率化を進め、リスク耐性を高めて経営基盤を強化し、あわせて企業と社会がともに繁栄する持続可能な未来の実現を追求することで、企業価値の向上を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

サステナビリティ

◆TCFDの枠組みに基づく開示への取り組み

当社は、「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言に賛同し、ガバナンス体制を構築するとともに、気候変動が当社に与える影響（リスク及び機会）について評価・分析を進め、事業戦略への反映と情報開示に取り組んでおります。

◆カーボンニュートラルへの取り組みについて

当社は、2022年度にCO₂排出量の削減目標を、「2030年度に2013年度比38%削減」と定め、エネルギー効率の良い設備の導入やサプライチェーン全体での協力体制の構築、社員へのCO₂排出量の少ない通勤手段への変更の協力依頼など、大小問わず、様々な取り組みを進めております。

	2030年度まで	2050年に向けて
電力	再生可能エネルギーの導入（一部の事業所）	他の事業所への更なる導入
蒸気	ボイラー燃料の石炭からLSA重油への転換	継続（費用対効果により燃料は適宜変更）
設備		硫安濃縮装置の省エネタイプへの更新及び稼働（2025年度より）
プロセス		生産体制の再構築、徹底した省エネ活動
カーボン・クレジットの活用		Jクレジットの購入、排出量取引等
サプライチェーンとの協働		原材料メーカー、顧客、産廃業者、社員に係るScope3の各カテゴリの削減

カーボンニュートラルへの挑戦

* TCFDの枠組みに基づく開示への取り組み及びカーボンニュートラルへの取り組みの詳細につきましては、CSR報告書（2023）に記載しております。
http://www.titankogyo.co.jp/sustainability/csr_report/

連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	前期末 (2023年3月31日現在)	当上半期末 (2023年9月30日現在)
【資産の部】		
流動資産	7,875	7,670
固定資産	8,881	8,774
有形固定資産	7,630	7,334
無形固定資産	12	10
投資その他の資産	1,237	1,429
資産合計	16,756	16,444
【負債の部】		
流動負債	5,363	5,544
固定負債	4,293	3,928
負債合計	9,656	9,473
【純資産の部】		
株主資本	6,284	6,040
その他の包括利益累計額	393	518
非支配株主持分	422	412
純資産合計	7,099	6,971
負債純資産合計	16,756	16,444

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	前上半期 (累計) (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	当上半期 (累計) (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)
売上高	3,895	3,546
売上原価	3,145	3,263
売上総利益	749	282
販売費及び一般管理費	533	559
営業利益又は営業損失(△)	216	△277
営業外収益	26	27
営業外費用	57	28
経常利益又は経常損失(△)	184	△277
特別利益	4	—
特別損失	8	1
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	180	△279
法人税等	49	△77
四半期純利益又は四半期純損失(△)	131	△201
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△27	△9
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	159	△192

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要 (2023年9月30日現在)

社名 (英文社名)	チタン工業株式会社 Titan Kogyo ,Ltd.
設立年月日	1936年(昭和11年)6月22日
本店所在地	〒755-8567 山口県宇部市大字小串1978番地の25
資本金	34億4千万円
事業内容	酸化チタン及び酸化鉄並びにこれらに付随する化学工業品の製造及び販売

役員 (2023年9月30日現在)

代表取締役社長執行役員	井上 保雄
取締役専務執行役員	長岡 佳孝
取締役専務執行役員	長岡 茂
取締役常務執行役員	千々松 義人
取締役常務執行役員	西田 敦
取締役(常勤監査等委員)	大島 覚
社外取締役(監査等委員)	大田 明登
社外取締役(監査等委員)	佐藤 久典
社外取締役(監査等委員)	松野 文子

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場		
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.titankogyo.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行される日本経済新聞に公告いたします。)		

株式の状況 (2023年9月30日現在)

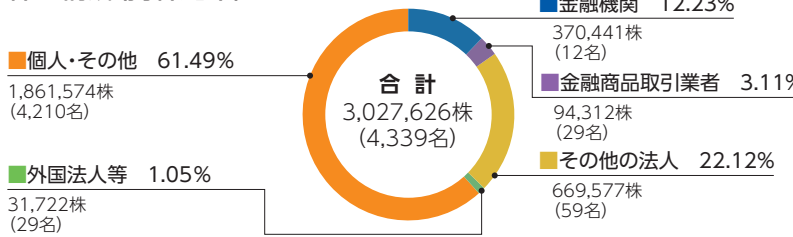
発行可能株式総数	発行済株式の総数 (自己株式を含む)	株主数
8,400,000株	3,027,626株	4,339名

大株主(上位10名) (2023年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社東芝	200,000	6.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	152,500	5.14
稲畑産業株式会社	147,749	4.98
株式会社山口銀行	128,223	4.32
株式会社山田事務所	96,195	3.24
小西安株式会社	93,568	3.15
平井健治	80,000	2.70
井本浩二	47,800	1.61
第一生命保険株式会社	38,600	1.30
山口産業株式会社	28,325	0.95

(注) 1 当社は、自己株式を60,181株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2 持株比率は、自己株式を控除して算出しております。

株主構成(持株比率) (2023年9月30日現在)



(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。